

～腹部超音波検査研修会基礎コースが終了しました～

全衛連 腹部超音波検査専門委員会 顧問 小野良樹先生のもと、指導講師も精度管理調査に携わる技師 7 名の指導により、11/19(土)～11/20(日)に 2 日間の研修会が行われました。

東芝メディカルシステムズ株式会社より最新鋭のハイエンド i シリーズ 3 機種を含む、7 台の超音波診断装置をお借りし、モデルは東洋公衆衛生学院の学生の皆さんに協力して頂きました。

受講者全員が、的確な描出技術の修得を目標として充実した実技実習を行いました。

《アンケートについて》

習熟度を見る為に簡単なものを、最初と最後に実施しました。

(参加人数：49名)

—経験について—

「経験がない」・「あまり経験がない」が、61%でした。

—5臓器の超音波解剖の理解・目標とする部位の描出—

受講前と受講後で自己申告していただいた結果が下記の表となります。 ※御参照下さい。



〈研修会を終えて〉

研修会終了時には、受講者の皆さんが笑顔で帰宅されました。

二日間の研修会から、何かしら得るものがあった事と思います。

臓器	超音波解剖を述べる	講習前の回答率 できない・ あまりできないが	⇒	同質問に 講習後では
	目標部位の描出			
肝臓	超音波解剖を述べる	71.4%	⇒	20.4%
	目標部位の描出	53.0%		28.6%
胆嚢	超音波解剖を述べる	79.5%	⇒	28.6%
	目標部位の描出	69.3%		28.6%
膵臓	超音波解剖を述べる	67.3%	⇒	22.4%
	目標部位の描出	61.2%		28.6%
腎臓	超音波解剖を述べる	67.3%	⇒	26.5%
	目標部位の描出	42.9%		14.2%
脾臓	超音波解剖を述べる	77.6%	⇒	22.4%
	目標部位の描出	44.9%		18.4%